

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1313
施設名	杉並の家さくら保育園
施設所在地	杉並区成田東4-9-19
法人名	社会福祉法人けいわ会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）保育園の園庭は、子ども達が大好きな場所です。花・虫・土・空・空気が毎日の園生活で身近に感じられる場所でもあります。身近な園庭探検をきっかけとし、子ども達の心が動く瞬間やワクワクする姿を見つめたいと考えます。近隣は緑地など緑豊かな遊び場もあり、別の場所の自然も経験し、子ども達の興味関心の世界が広がってくれることも願って設定しました。

2. 活動スケジュール

- ①園庭探索
- ②近隣緑地探索
- ③園外活動
- ④冬の果物観察 収穫体験

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）
・ルーペ ・タブレット ・段ボール ・ペン ・テープ ・画用紙 ・カラービニール袋・図鑑 ・ボードゲーム ・記録用Ihphone ・バス

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

①園庭探索

- ・梅雨期の園庭探索（自作のレインコートで雨の園庭探索）
- ・夏野菜栽培（・ピーマン なす スイカ きゅうり ・収穫と実食体験）
- ・植物 虫の観察（ルーペに石や幼虫など子ども達が気になる自然物を入れて観察）

②近隣緑地探索 （自作のバックに自然物を入れて観察）（持ち帰って図鑑で調べる） （ルーペに石や幼虫など子ども達が気になる自然物を入れて観察）

③園外活動

- ・プラネタリウム見学 （星の観察 星座調べ 月や惑星調べと観察）
- ・テラスでの月観察 ・ロケット宇宙コーナー作り

④冬の果物観察 収穫体験

- ・みかん狩り ・みかんを知る （部位 栄養 取り方）

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

- ・カラーポリ袋でレインコートづくりをして雨の中を探索し「気持ちいい」「つめたい」「どきどきする」など、感触を感じたり、感情が動くのを言葉として感じられた。
- ・上から降る雨を手で触れ、下の水たまりを踏みしめるなどが見られたので保育者も同じ動作をして共有した。
- ・戸外散歩ではバックを自分好みにアレンジして自然物を入れたり「こんなのあった」とお互いの発見を見せ合っていた。
- ・プラネタリウム見学で星座を知ったり、誕生石を見た。園でも図鑑を見て、友達や保育者の星座を聞いていた。
- ・星座や宇宙にも興味を持ちはじめ保育者と一緒に自分たちで調べたり、テラスから星や月の観察を行った。発見したことを友達や保育者と共有していた。
- ・星から宇宙へと興味が広がりロケット作りが始まった。子どもの声を聞き製作の為の準備をした。土台から「星を付けたい」「色を塗りたい」「操縦席を作りたい」と次々に展開されていった。
- ・図鑑で月の様子を観察。実際に夕保育中にテラスに出て空を見上げて実際の月を見て図鑑と照らし合わせて見る。「今日は三日月かな～」星を見て「あれは金星だよね」など保育者と調べたり何日も続けて見て形の変化に気付いた。
- ・みかんの取り方も教えて貰い一人ひとり取ると嬉しそうにしていた。後日給食でみかんが



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・図鑑を見ながら、花には部位があることに気づき知ろうとしていた。家庭の花も友達と一緒に観察したいと園に持って来る時もあり保育室に飾り、子どもの気づきを保育者が聞き新たに知ることもあった。子どもの主体性を感じた。・クイズや収穫体験を通して普段食べるものへの興味が広がっているようだった。給食で出たときに「アルベドっていうんだよね」と友達と話したり嬉しそうに食べていた。・星や宇宙に興味を持ち遠くにあり触れることは出来ないが、星座ランプで遊んだり図鑑をじっくり読むなどの経験を通して身近に感じる事が出来た。・自然の色々な分野の物を見たり触れたりすることで子ども達が本当に興味のあるものに出会えることがわかった。また子ども達の興味を大切に、引き出せるような環境を用意することで子どもが主体となって調べたり遊びに活かすことができたのだと思った。

・子どもの言葉や目線を通して保育者も一緒に考えたり調べたりしながら発見することが多かった。

・戸外に限らず、保育園での一日の生活の中で朝から夜まで自然と関わりながら様々な発見や興味を広げていたことを感じた。